

密着張り工法用一発目地仕上材

# 太平洋 密着張用 **タイロウ**

社団法人公共建築協会評価品  
評価 第971-03100001号



# 「張」「詰」の2つを兼ね備えた、 すぐれ物です。

密着張用タイロンは、タイルの張り付け材と目地詰めを同時に施工できる、  
密着張り工法専用の既調合セメントモルタルです。



## 適用範囲

- 下地 ⇒ コンクリート、モルタル、プレキャストパネル
- タイル ⇒ 小口平タイル、二丁掛タイル
- 塗り厚 ⇒ 5～8mm
- 施工面積 ⇒ 2～3㎡/袋

## 特長

- 1.タイルの張り付け材と目地材の両機能を兼ね備えた既調合セメントモルタルです。
- 2.塗り目地の困難な表面が粗面なタイルやレンガタイルの張り付けに適しています。
- 3.目地詰め工程がタイル張り付けと同時にできるため、工期短縮ができます。

## 標準色

白	
灰	
濃灰	
黒	

※印刷の仕上がり具合により実際の色調とは多少の差異がありますのでご了承ください。



25kg/袋

## ★注意★

- 太平洋密着張用タイロンはセメント同様アルカリ性を示します。誤って眼に入った場合は、直ちに清浄な水で15分以上洗浄し、専門医の治療を受けて下さい。
- 皮膚に付着すると肌荒れを起こすことがありますので直ちに水洗して下さい。
- 太平洋密着張用タイロンは、タイルの張り付け材と目地材の両機能を兼ね備えた既調合セメントモルタルです。カタログに記載されている方法で使用して下さい。

# 施工方法 (JASS 19「陶磁器質タイル張り工事」に準じて施工して下さい。)

## 1. 下地調整

下地面のレイトンス、塵埃、油分、汚れ、硬化不良部分などは、充分に取り除いて下さい。

## 2. 練り混ぜ

密着張用タイロンの1袋当たりの標準使用水量は4.5~5.0ℓです。まず、4ℓ程度の水量で硬練りを行い、残りの水を徐々に加えながら適正な軟度に調整して下さい。練り混ぜにはハンドミキサーをご使用下さい。

※色調を安定させるため同一場所での使用水量は一定に保って下さい。

## 3. 水湿し

密着張用タイロン塗り付け面に水湿しを行って、密着張用タイロン施工時の下地への吸水を調整します。

## 4. タイル張り付け

①塗り付けはまず下地にコテで薄く押しつける様にしごき塗った後、追っ掛けで5~8mm厚に均一にむらなく塗り付けて下さい。

②密着張用タイロン塗り付け後、直ちにタイルを押当て、タイル張用衝撃工具(ヴィブラート)を用いてタイル表面に振動を与え、密着張用タイロンがタイル裏面全面に密着し、さらにタイル周辺からはみだすまでタイル張用衝撃工具を移動させながら目違いのないように通りよく張り付けて下さい。

③タイルとの接着状況を確認するため、適時(5㎡に1枚程度)タイルを剥がしてタイルの裏足への充填度を確認して下さい。(確認後は速やかに元の位置に戻して下さい。)

## 5. 目地仕上げ

①タイル周辺からはみだした密着張用タイロンが締まってきた時をみはからい、目地ゴテで目地を押さえて下さい。その時、タイルに振動を与えないように注意して下さい。タイルに振動を与えますと、接着力が低下しタイル剥落の原因となります。

## 6. タイル面の清掃

①タイルの表面に付着した汚れは水洗いを行い清掃して下さい。やむを得ず酸洗いを行う場合は、清掃前に十分な水湿しをした後に塩酸の30倍希釈液で洗って下さい。

②酸洗い後は直ちに水洗いをして酸を完全に洗い流して下さい。酸が残りますと目地の仕上がりが悪くなります。

③特に冬期の洗いにおいては晴天の日を選び、洗いの水分が充分乾燥できるよう、午後2時頃までに洗いが終了するようにして下さい。乾燥が不十分ですと、白華の原因となります。



※密着張用タイロン下地塗り付けからタイル張りまでの時間は20分以内として下さい。そのため、1回に塗り付ける面積は2㎡を限度としてタイル張りを行なって下さい。塗り付けからタイル張りまでの時間が20分を越えると、接着力が低下しタイル剥落の原因となります。また、塗り付けからタイル張りまでの時間は現場環境により短くなることがありますので御注意下さい。

※密着張用タイロンは、練り混ぜ60分(夏場の場合40分)以内に使用して下さい。また、練り足しは行わないで下さい。

※塗り厚が薄くなるとタイルの剥落の原因となりますので、施工方法の塗り厚さを厳守して下さい。

※陶器質タイルのように吸水の大きいタイルは、必ずタイル裏面を水中に浸して吸水度合を調整してから施工して下さい。

②目地押さえは同一調子で押さえ込んで下さい。

③目地部のはみ出し不足部分の確認された場合は、必ずタイルを剥がしてタイルの裏足への充填度を確認して下さい。その後、同一材料で塗り足して下さい。

※酸洗いを行う場合は、防護メガネとゴム手袋を必ず着用して下さい。万が一、塩酸の希釈液が眼に入った場合は清水で15分以上洗浄し、医師の診断を受けて下さい。また、皮膚に付着した場合は直ちに多量の水で洗い流して下さい。

※使用タイルへの酸洗いの可否は必ずタイルメーカーの確認の上、行って下さい。

## 試験結果

### ①凝結試験結果

水量(%)	フロー(mm)	始発(時一分)	終結(時一分)
20.0	173	5-55	7-30

●JIS R 5201(セメントの物理試験方法)による。

### ②保水性試験結果

保水率(%)	2分後	10分後
	97.8	95.6

■社団法人 公共建築協会

[既製調査モルタル(タイル工事)の品質規準]による。

### ③強さ試験

材齢	曲げN/mm <sup>2</sup> [kgf/cm <sup>2</sup> ]	圧縮N/mm <sup>2</sup> [kgf/cm <sup>2</sup> ]
3日	3.4{35}	22.7{232}
7日	6.4{65}	25.1{256}
28日	6.6{67}	26.2{267}

■JIS R 5201(セメントの物理試験方法)による。

### ④接着強さ試験

条 件	標 準 時		温冷繰返し10サイクル後
	材齢14日	材齢28日	
接 着 強 さ N/mm <sup>2</sup> [kgf/cm <sup>2</sup> ]	1.0{10}	1.0{10}	1.0{10}
破 断 箇 所	密着張用タイロン凝集破断	密着張用タイロン凝集破断	密着張用タイロン凝集破断

■試験体

下地コンクリート板に水しめしを行った後、練り混ぜた密着張用タイロンを厚さ8mmに塗り付け、直ちに磁器質タイル(108×60×12mm)を張り付けた後、所定の材齢まで試験室で養生した。

■温冷繰返し10サイクル後の接着強さ  
JIS A 6916(建築用下地調整塗材)による。

### ⑤吸水試験

	1時間後	5時間後	24時間後
吸水量(g)	4.2	8.1	14.2
吸水率(%)	0.9	1.8	3.2

■JIS A 1404(建築用セメント防水剤の試験方法)による。

### ⑥透水試験

透水量(g)	2.4
--------	-----

■JIS A 1404による。

## 注意事項

- ①太平洋密着張用タイロンは既調合モルタルです。  
他の材料(セメント、砂等)との混合は避けて下さい。



- ②太平洋密着張用タイロンの硬化初期は、手直しその他によって衝撃を与えないで下さい。  
③夏場での直射日光の当たる場所や風通しの強い所での施工は避けて下さい。やむを得ず施工を行う場合は、適切な養生を行って下さい。  
④気温が5℃以下の場合や、硬化初期に同様な条件になる場合は、施工を見合わせて下さい。やむを得ない場合は、必ず適切な保温、採暖処理を行って下さい。  
⑤セメントと同様に雨露のかからない、湿気の少ない場所で保管して下さい。

## 太平洋マテリアル株式会社

本 社	〒103-0023	東京都中央区日本橋本町4-8-15	ネオカワイビル	
		営業本部 建築資材営業部	☎03-3278-5318	
北海道支店	〒060-0004	北海道札幌市中央区北4条西5-1-4	三井生命札幌共同ビル	☎011-221-5855
東北支店	〒980-6020	宮城県仙台市青葉区中央4-6-1	住友生命仙台中央ビル	☎022-221-4511
青森営業所	〒033-0074	青森県上北郡六戸町小松ヶ丘2-77-608		☎0176-53-3213
盛岡営業所	〒020-0021	岩手県盛岡市中央通1-11-15	村上第二ビル	☎019-654-5375
福島営業所	〒963-8002	福島県郡山市駅前2-10-16	千代田生命郡山ビル	☎024-934-6881
東京支店	〒103-0023	東京都中央区日本橋本町4-8-15	ネオカワイビル4階	☎03-3278-5331
横浜営業所	〒231-0013	神奈川県横浜市中区住吉町2-24-2	住吉24ビル	☎045-651-6248
東関東営業所	〒260-0013	千葉県千葉市中央区中央四丁目16-1	建設会館ビル6階	☎043-202-3771
北関東営業所	〒360-0162	埼玉県熊谷市大字村岡2453		☎048-536-3091
新潟営業所	〒950-0087	新潟県新潟市東大通1-4-1	マルタケビル	☎025-244-7799
北陸支店	〒920-0031	石川県金沢市広岡3-1-1	金沢パークビル	☎076-234-1670
中部支店	〒453-0801	愛知県名古屋市市中村区太閤3-1-18	名古屋KSビル	☎052-452-7141
静岡営業所	〒420-0857	静岡県静岡市御幸町11-30	エクセルワード静岡ビル	☎054-221-0018
関西支店	〒530-8618	大阪府大阪市北区中之島2-2-2	ニチメンビルディング	☎06-6228-6660
中国支店	〒732-0828	広島県広島市南区京橋町1-23	三井生命広島駅前ビル	☎082-261-7191
岡山営業所	〒700-0907	岡山県岡山市下石井2-2-5	ニッセイ岡山スクエアビル	☎086-231-8650
山陰営業所	〒683-0067	鳥取県米子市東町177	東町ビル	☎0859-33-7843
山口営業所	〒756-0817	山口県小野田市大字小野田6276		☎0836-84-7470
四国支店	〒760-0050	香川県高松市亀井町7-15	セントラルビル	☎087-833-5758
九州支店	〒810-0001	福岡県福岡市中央区天神4-2-31	第2サンビル	☎092-781-5331
大分営業所	〒870-0034	大分県大分市都町1-32	大分都町第一生命ビル	☎097-534-6678
長崎営業所	〒854-0081	長崎県諫早市栄田町8-22		☎0957-26-0288
熊本営業所	〒860-0804	熊本県熊本市辛島町5-1	日本生命熊本ビル	☎096-325-2686
鹿児島営業所	〒892-0846	鹿児島県鹿児島市加治屋町12-7	日本生命鹿児島加治屋町ビル	☎099-226-2255
沖縄営業所	〒900-0015	沖縄県那覇市久茂地3-1-1	日本生命那覇ビル	☎098-867-9663